

松原市議会議員
自由民主党

ささと ゆうじ



平素より皆様方にはご指導、ご鞭撻賜り、心より感謝申し上げます。
不定期ではありますが、2015年夏号から数えて今号で6回目の活動報告となりました。
2018年が皆様にとって、実り多き年となりますようにお祈りいたします。

活動報告 2018年 新春号

篠本 雄嗣 プロフィール

- 昭和46年7月16日生まれ
- 松原市立松原第五中学校卒業
- 大阪府立生野高等学校卒業
- 広島大学経済学部卒業
- 松原市役所奉職
- 自由民主党大阪府連 青年局次長
- 趣味：スキー、旅行、バドミントン
- モットー：誠心誠意

議会報告

平成29年 第3回定例会 個人質問

●松原市の防災体制について

～今こそ、「防災士」の育成と「Net119」の活用を！
そして、東日本大震災の教訓から
非常用発電機の適正な点検実施の指導を！～

近年、全国各地を襲う自然災害。

多くの命や暮らしが、ある日突然奪われる事態が多発しています。

比較的災害が起こりにくいと安心している本市において、ひとたび緊急事態が発生すると**公助を担う職員の体制がきちんと整っているのか**。あるいは**自主防災組織等の地域団体との連携はどうか**…。

これに対して、日頃の訓練等を地域と協働で行いながら、**防災体制の強化に努める**と答弁がありました。

共助の役割が、いざという時には重要視される中で、全国的に広がりを見せる**「防災士」の提案**を行いました。全国で約13万人を超える人が、また、大阪府でも4,200人余りはその資格を取得。多くの自治体

が資格取得に補助を出し、災害時に活躍できる人材の育成を行っています。本市においても、自助・共助の促進と「協働」の精神を養う意味においても、その助成制度の必要性の訴えに対し、**前向きに検討していく**



旨の答弁がなされました。

また、聴覚・言語障害を持つ方が、万が一の119番通報の手段としてFAXを使用した運用を現在行っているが、実用性に乏しい。緊急時に近くにFAXがあるとは限らないことから、広く普及しているスマートホンを使用したシステム**「Net119」**を導入すべきとの提案を行いました。これに対し、国の指針が示され、様々な課題を解消したのち平成32年度を目標に導入する旨の回答がありました。障害者差別解消法の施行により、合理的配慮の必要性の観点から導入を急がれるよう意見を申し上げ、**前向きに検討する**旨の回答がありました。



そして、東日本大震災では特定建物の**非常用発電機が動かず**、スプリンクラーが作動しない、エレベーターが動かないなどで被害が拡大した案件が報告されました。日ごろの法廷点検が不十分であるにも関わらず、それに対する消防署等の指導が全国的に緩い状況の中で、**本市においても点検や指導方法の在り方を尋ねたところ、不十分との認識を持っていることから、安全対策のため今後徹底するよう求め、改善の意向がしっかりと示されました。**

●産業振興ビジョンの振り返りと今後の展開について

私が職員時代に策定に携わった本ビジョンも来年度に最終年を迎えます。

市内の工業・商業・農業・サービス業の事業者アンケート調査を行い、様々なご意見を基に計画を策定し、短期・中期・長期のアクションプランを実行してきました。概ねそのプランに基づき事業を展開してきた中で特に大きな柱である企業立地促進制度活用事業

者も順調に増えているものの雇用の面に不安が残ります。来年度の新たな計画策定作業における姿勢を尋ねましたが、第5次総合計画との整合性や既に実施した製造業実態調査も踏まえながら、市内事業者の活性化、各産業の振興に**しっかりと積極性をもって取り組んでいく**との回答が示されました。



地域力・創造力・組織力の強化をめざします！
3つの**力**を強化して、次世代に誇れるまつばらに！